浜松南高新聞

発行所
県立浜松南高校新聞部
静岡県浜松市米津町
印刷
浜松共同印刷株式会社

メガネの吉田屋
駅前広小路通り
TEL 53－1188代

規約改正案 六月には発表

一年生を迎えた本部の活躍

新たにクラブ相談室設ける

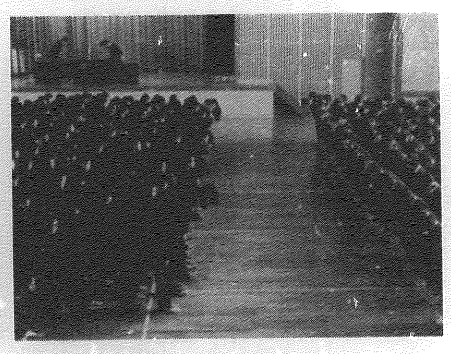
水野会長を中心として発足した前期生徒会本部の任期もあと二ヶ月。現在まで、公約である規約改正・毎週一回（月曜日）の総務委員会の活発化・新入生のためのクラブ説明会、新企画のクラブ相談室の設置と生徒会を運営してきたが、どの程度目的をはたすことができたか。この中でも、規約改正は原案の発表が新学期の予定であったが、六月がいっぱいには発表される。

規約改正は、前期生徒会の重点目標のひとつで再三、本部役員の間で討議されてきた。改正案には、すでに学校側の意向がとり入れられており、発表できる段階であるしかし中間試験や、一・二年生の集団訓練のため発表は六月になる予定。その後各HRで規約改正について話し合う機会が設けられている。

クラス回りをもう一度

また総務委員会は、毎週月曜定期に開かれ、目標を達しつつある。総務委員会が開くことは、公約を果たすうえで、本部でも力を入れている。四月からは他の委員会も比較的活発に開かれており、よい傾向である。

行事面はこれまでに「カルタ大会」「三年生を送る会」「対面式」が行なわれてきた。前期生徒会本部が主催した行事は、この三つで、ほぼ成功した。これは各行事の具体的企画が、実行に移されるまでに時間的にも余分余裕があったからである。会長のいうところ都合で生徒会室に寄わった。その目三十余名の相談室は、本部役員の説明を聞いた。クラブ相談室は初の試みとして行なわれたが、クラブを選択するために効果があったか。この中でも、規約改正までに学校側の意向がとり入れられており、発表できる段階であるしかし中間試験や、一・二年生の集団訓練のため発表は六月になる予定。その後各HRで規約改正について話し合う機会が設けられている。



よろしくお願いします！

握手はどうかな？

本部の進行に疑問

四月七日、始業式に続いて、生徒会本部主催の対面式が行なわれた。式は生徒会長、新入生代表のあいさつ、上級生による校歌の紹介と進められた。

ことしは新入生の代表者があいさつを終えてから、生徒会長の握手に応えられた。これは生徒会本部側の案で、儀式の中になかなか一面をそなえていが、一部の生徒の間では「握手までするというのは、あの場で少し不自然であった」という声も聞かれた。

そのあと新入生と上級生が向い合って校歌紹介が行なわれた。校歌そのものは「よいメロディだと思った」が、声が小さすぎてあまりよくわからなかった」と新入生は話していた。上級生は、校歌を歌う機会がないので、歌詞を全部覚えていない人がかなりいるようである。

全体に学生年とあまり変わらない対面式になっている。毎年同じような形式から、内容の充実と雰囲気を盛り上げるプログラムを演出してほしいものである。

意外な先生の横顔

「新任です」よろしく

四月七日、体育館で始業式にさきがけて、昭和四十四年度新任式が行なわれた。学校長より新任十二人のうち十人の先生方が紹介され、鈴木実先生方新任代表としてあいさつされた。

残るふたりの先生は、都合により出席できなかったため、四月九日のSHRの時間を利用して紹介された。

新任の先生方の横顔を紹介しよう。

①生年月日　②家族　③出身校　④担当科目　⑤指導方針　⑥我校の感じ　⑦趣味　⑧好きな言葉　⑨尊敬する人　⑩職歴

▼伊藤静子
①大正十五年四月一十八日　②日本女子体育専門学校　③保健・体学　④実験・観察から事象を理解する喜びを味わうこと　⑤やわらかな中に厳しさのある人間　⑥礼儀正しく、なごやか　⑦登山　⑧「人生における最大の悲劇は優しさを忘れることだ」ーモーランクリン　⑨ベンジャミン・フランクリン　⑩農業経営高校

▼子安美恵子
①昭和九年十二月十一日　②両親・姉・兄・妹　③信州大学　④化学　⑤結一杯やる人間　⑥礼儀正しく、なごやか　⑦登山　⑧「人生における最大の悲劇は優しさを忘れることだ」ーモーランクリン　⑨ベンジャミン・フランクリン　⑩農業経営高校

▼川合君次
①昭和十五年五月九日　②妻・子供二人　③静岡大学　④英語　⑤やさしさの中に厳しさのある人間　⑥礼儀正しく、なごやか　⑦登山　⑧「人生における最大の悲劇は優しさを忘れることだ」ーモーランクリン　⑨ベンジャミン・フランクリン　⑩農業経営高校

▼太田浩司
①昭和十四年五月二十一日　②父　③日本体育大学　④体育・保健　⑤規律ある人間　⑥温和　⑦手芸・音楽　⑧題所賞　⑨掛川東高校

▼小林保之
①昭和八年四月一日　②妻・子供一人　③亜細亜大学　④商業一般　⑤自主的人間の育成　⑥礼儀正しく　⑦スポーツ　⑧木屋　⑨吉田茂　⑩新居高校

▼塩崎晧
①昭和十五年十一月二十日　②妻子供二人　③東京教育大学　④保健・体育　⑤結一杯やる人間　⑥下田南高校

▼鈴木進
①昭和十五年十一月二十日　②妻・子供二人　③青山学院大学　④英語

▼鈴木実
①大正十年五月十五日　②両親・妻・子供二人　③大東文化学院高等科　④国語　⑤学力向上・しつけ　⑥真面目・やや気力に乏しい　⑦釣・剣道四段・音楽　⑧人生意気に感ず　⑨山本五十六　⑩浜松商業高校

▼田中正弘
①昭和四年六月一日　②妻・子供二人　③青山学院大学　④英語

▼原正達
①昭和十五年十一月二十九日　②家族　③中央大学　④会計・計算実務・商業一般　⑤愛すること　⑥清潔で規律正しい　⑦生花・毛筆　⑧らしく　⑨恩師なお国語実験部として、本校で家庭を受け持っておられた野末先生は、本年度から正式に本校の専任としてスタートされた。紹介は昨年の紙上で済んでいるので今回は省かせていただきました。

▼四月七日例年のように対面式が行なわれた。昨年までは、あまりめだたなかったが、ことしはやりっぱになったように思われる。が、新入生と在校生が向かい合いおじぎをし、任校生は校歌を三番まで歌う。それで対面式は終わり何か物足りないという声がよく聞かれる。来年度からは、そんな声が聞かれないようにしたいもの。

▼ことしは春になっても、冬型の気候がなかなか去らなかった。四月に入って雪が降るなんて、桜の花も人間もびっくりきょうてん実に気ままな天気の続く毎日ではあるが、学校に慣れきっていない純情（？）な一年生にはおかまいなくこの南高ではうららかな日が過ぎていく。草木には芽が生え、花が咲き、まことに春という季節は時間を感じさせない。そのうららかな季節が教室にもやって来た。授業中、眼球をおおっているものがトビッタリと仲良くなることもしばしば。新学期を迎え、こんな調子ではと反省し、性に前進あるのみという心構えで毎日を送っている浜松。

▼最近、交通事故があいついで起っているようだが、事故にはくれぐれも注意したいものである。我が校にも自動二輪の運転免許証を持っている生徒が多いようだが、無謀な運転、規違反などは学生として慎むべき行為であり、第一親不孝な息子が路頭にいたらどうなる。南高は名誉をまるつぶれ、しかも主婦連（？）からは批判の山これじゃあ立つ瀬がない。そんな高校にしたくないでしょ。新設校と言われる以上もっとよい校風を作り上げていきたいものであるよね。

▼四月も終わりごろになると、それぞれの学校で遠足だとの行事が行なわれる。いつか、ある小学校の遠足の一行が我が南高前を通ったとき、元気に振る舞っている彼らの様子を見ていた人は、きっと童心に返ったことだろう。「あのころは、おれだってはんぱっぱに可愛らしく、無邪気で…」と、昔の自分を思い出した人もいることだろう。ところで、南高の毎年行なっている一年生の御殿場青年の家での集団訓練がことしは霧島青年の家での訓練に変更された。これは御殿場の青年の家が改造されるので使用できないためである。また二年生は阿蘇青年の家での集団訓練があり、三年生は鳳来寺山への遠足があった。このような集団行動の行事があるのも南高校なのであるが、いずれにしても、集団ようにしたいものである。そして集団の中の自分というものをよく考え、何が自分にプラスになるものを見い出し、それを生かし得る人間として世に前向きの姿勢で世の中を生き抜いていけるようにしたいものである。

遠州灘

論説

後期生徒会への願望

四十四年度前期生徒会が発足してはや四ケ月半。いままでの生徒会活動をふりかえってみると、十一月に前期生徒会長の選挙があり、一月から活動をはじめた。

最初の行事は、カルタ大会であった。水野会長が、じきじきにカルタを読んだ、発光灯のないHRは生徒がまわりを囲んだため暗くなり、よく見えなかったという声があった。こんな点を大会が開かれる前に考えるべきである。

また、前年度三学期最大の行事、「三年生を送る会」では、一年・二年の劇が、支離滅裂であった。この劇の指導に生徒会本部役員が見ていたのにも、かかわらずこのようであった。ストーリーをもう少し考えて指導すべきである。

今学期に入って対面式が行なわれた。この対面式で例年と変わったところは、一年生と二・三年生が校歌を紹介したことだけである。また、会長が一年生の代表と握手をした。しかしこの握手は、すみの方で行なっているように見えた。そのことに一部の生徒の間から「こせせあのようなことをしなければならないんだ」といった批判の声が出た。この握手をするということは、本部役員の案であった。もし会長が握手をするならば、一年生と二・三年生との間で行なう。また、会長ではなく代表者同志で行なうようにしたらよいのではないだろうか。来年度また握手をするならば、少々考えて行なってもらいたい。

週一回開かれている総務委員会では、行なわれたことがたいへん多い。これは、本部側が連絡させることを徹底していないのだろうか。また、総務委員が連絡を忘れているのだろうか。どちらにせよ、連絡の徹底ということを考えなければならない。

近ごろフォークダンスに参加する者が多くなった。これは本部が一年生に積極的に参加するように行なったためである。これは、生徒会側のはからいで一年生同志の親睦を深めるためである。また、フォークダンスをする者が少なくならない方法も考えてもらいたい。たとえばフォークダンスの行なう日を減らしたりすれば、フォークダンスをする機会がなくなるのでこれから、毎回参加しようという生徒が出るのではないだろうか。生徒諸君も、もっと生徒会活動に積極的に協力しなければならない。

今年度は、クラブ説明会が終わったあと、クラブ相談室が設置された。この相談室には、約三十人がおとずれ、これを利用した。これは、たいへんよいものである。このようなことは毎年開いて、新入生によりよいクラブを指導するようにしてもらいたい。

このように、前期生徒会は多少の問題点のこしたが、あと一ケ月半で後期生徒会が発足するわけである。次のようなことを考えてもらいたい。

毎年いわれている、生徒との密接化はいつも密接化ということまで行かずに終わっている。また、各委員会の活動が目立ってきたが、まだ全部の委員会が活動しているわけではない。まだ活動していない委員会を、いまいちと活発な活動にしていくようにと。四十三年度後期生徒会から、いまの生徒会がうけついだ規約改正は、現在、生徒会の本案となってきており、六月ごろに案となる予定である。なべく早く、いまの予盾した規約を、改正してもらいたい。各クラスに置かれている投書箱の利用を、もう少し考えて、その解答方法も考えてもらいたい。

また、生徒集会も、多く開けるようにしてほしい。

我々は、生徒会活動にもっと協力し、よりよい南高を作りあげたいものである。

早く見つけてえ！

三月十七日正午から、県立高校入学試験の合格発表が行なわれた。この日は朝から風が強く寒かった。にもかかわらず、発表が気になり正午前から学校に来ていた人が見受けられた。

そこで新聞部では、十七日正午から、合格者にインタビューした。

―合格した気持ちはどうですかうれしいですーと喜びを隠しきれないようすだった。

―南高の校舎、環境などについてはどうですか

大きいですね。体育館や格技場がある立派です。雑音もなく環境がいいです。

―高校生活をどのように過ごしたいと思いますか

不相変勉強目について勉強していきたい。立派な社会人となるようにいっしょうけんめい勉強したい。クラブ活動をやりたい。

―制服についてどう思いますかリボンのところがかわっていますね。何かしっくりしません。かわいいですね。（以上女子のみ）

―南高の受験した理由は

家が近いからーと答えた人が多かった。

―どんなクラブに入りたいと思いますか

よくわかりませんが、運動クラブに入りたいと思います。

―南高の校風を知っていますか

南高は伝統も浅し、卒業生も少ないのであまりよく知りません。

―先生方をどう思いますか

おもしろい感じですね。それに好感がもてていいです。しかしこわい感じの先生もいました。

はだ寒い風の中で 環境のよさが好評

合格発表 喜びを胸に秘め

新クラブ紹介

器楽クラブ誕生

クラブ員の和・交流を

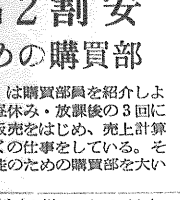
昨年の文芸部設立に続いて、今年度も器楽クラブが新クラブとしてスタートした。

昨年度末に生徒会、総務委員会で承認された器楽クラブ設置案は学校側の承認を待つだけになっていたが、四月になってやっと承認された。

現在（四月二十二日）の部員数は、一二人である。顧問の深瀬田中の両先生を中心に毎日放課後三時四〇分から五時まで南館一階音楽室で活動している。内容は、個人練習・先生の指導・合奏などを回数繰り返して行なっている。

楽器はピアニカ・ハーモニーディオンなどで、多個たち生徒会クラブ予算からは出ず音楽教育費の一部で購入した。これらは音楽授業にも利用され、除々に数増・打楽器などを加えていく予定である。またクラブの方針は生徒間の交流、クラブ内の和を求めていきたいとのことである。

スタートしたばかりの器楽クラブ、音楽室から美しいメロディーが聞こえてくるのも間近であろう。部員一同ともに楽しんでいきたいものである。

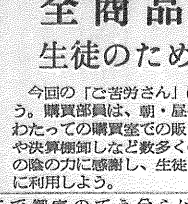


ご苦労さん その5

全商品2割安

生徒のための購買部

今回の「ご苦労さん」は購買部員を紹介しよう。購買部員は、朝・昼休み・放課後の3回にわたっての購買室での販売をはじめ、売上計算や決算棚卸しなど数多くの仕事をしている。その陰の力に感謝し、生徒のための購買部を大いに利用しよう。



現在は、一年生八人、二年生八人、三年生八人」という意見も聞かれるが、これは一般生徒の知らない仕事にいろいろ仕入れた品物を購買部に出品する時間も多すぎない」と答えた。また「裏棚しがいちばん大変な仕事である。

陰の部男子集めてみると、「朝が早いことも仕入れた品物を購買部まで運べるようにしてほしい。

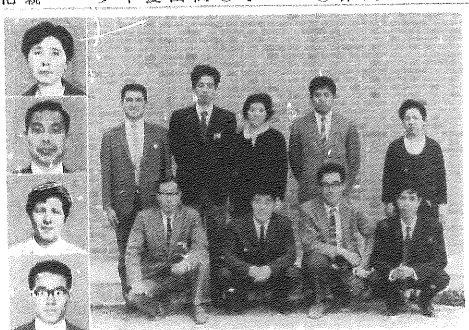
また、生徒諸君、購買部の陰の力に支えられているのであるが、購買部は生徒のための利用を呼びかけている。

生徒諸君、購買部の陰の力に感謝すると同時に、生徒のための購買部を大いに利用しようではないか。

離任紹介

三月二十九日の年前、体育館で離任式が行なわれ、十人の先生方の転任先は次のとおり。

吉田　宏治（五十嵐・敬称略）
大野　力一　磐田南高校
河合義代子　天竜養護学校教頭
木村　健一　福井県立大野高校
鈴木　昭宏　浜松北高校
鈴木　正実　気賀高校
内藤　隆士　浜名高校
内藤　進二　磐田南業高校
萩田　豊子　退職
向原　康夫　岡山県玉野市立玉野御殿場高校



前左から　鈴木丈，太田浩，吉田修，田中正，
後方左から　原正，小林保，小安了，塩崎晧，野末千，
左上から　川島秀，鈴木進，伊藤静，川合君，

★爽やかなお目覚めから
安らかな夢路まで
貴女のくらしを
ダルマヤ　がつつみます
浜松駅前 洋装の ダルマヤ

メガネで生かそう
あなたの魅力！
至誠堂眼鏡店
浜松・伝馬町角　TEL 52-6219

ヨーロッパケーキの
まるたや
浜松市鍛冶町大通り96
電話 ㊷—1496 菓子部
㊸—4708 料理部

御通学には指定制服で
女子冬指定服
〃　夏スカート
〃　冬トッパー
男子制服詰ニリ
生地純毛日毛カシドス地
〃　ギャバ地
御調製
特約店 大森洋服店
浜松市佐藤町　TEL ㊶ 3288

音楽教室開校（オルガン科・ピアノ科・ギター科・ドラム科）
生徒募集
音のハイショップ　レコード・楽器・ステレオ
イケヤ
本店（有楽街）㊷2930　鍛冶町店 ㊸5550
遠鉄名店ビル店 ㊸7814　袋井店 ㊷2529

靴の専門店
流行とセンスの
アツミヤへどうぞ
当校女子靴指定店
アツミヤ靴店
遠鉄名店ビル 南 ㊸0645

＊毛糸
＊ボタン
＊洋裁用具
＊手芸用品
田町ショッピングセンター
大黒屋
浜松田町65 TEL 53—1390

南高校制服専門
●注文制服専門
南高校規定型　夏用ブラウス／夏用スカート
長袖ブラウス／ネクタイ
レインコート
《製造直売》
ニチボー
ニチボー 純毛サージ　カシミヤサージ　静岡県代理店
粟林株式会社
浜松市下池川町 TEL ㊷ 7295
信愛高校入口

南高・南高生を考える

設備の充実を

70%の人が誇りを持つ

新設校のイメージから脱皮したと言われる南高。だが、まだ考えなければならない数多くの問題がある。施設・設備の問題、南高生の消極的な態度である。ここには先日、新聞部で行なったアンケートの中から前にあげた二つの問題を重点とし、他の問題も載せてみた。南高・南高生の抱いているこれら諸問題の解決の糸口とするために、今一度考えてもらいたい。

依然螢光灯整わず

新学期にはいって二カ月、一年生もそろそろ高校生活に慣れてきたことだろう。ここで、南高を改めて考え直してもらうため、生徒の一部（二・三年生九HR）を対象として、新聞部ではアンケート調査を行なった。

―南高の環境・施設・設備について不満がありますか。

①交通の便が悪い②プール・個人ロッカー・螢光灯などの設備が整っていない③運動場が狭い④校内の緑化が進んでいない―などの不満の声があった。

はじめの二つの問題は、市の交通課や学校側の予算の関係があり因難のようである。また東側の運動場が完成され、使用されることになっている。

―南高生であることに誇りを持っていますか。またそれはどんなところですか。

①自分で選んだ学校だから②先輩たちがよい③よい環境に感じている―などの理由から、誇りを持っている生徒は約七十%という結果であった。

―南高生は「消極的だ」と言われているが、それについてどう思いますか。

①先生の力によって、積極性が押さえられている②他人まかせの人が多い③他校生と交わらない―などがあげられている。このことから、南高生は消極的であることを肯定している意見の多いことがわかる。五HRの教室が、先生から提出されたものが多く、自分たちの力で計画していくことが少ないことでも実証される。

今年度は五HRの時間、五回ほどが生徒独自で計画し、活動が行なわれることになった。この機会に積極的な態度を見せてほしいものである。

―南高生の諸活動における長所・短所はどんなところであろうか。

①生徒会本部は、積極的に活動を行なっている②週一回総務委員会が開かれている③一般生徒が消極的である④生徒の力が強く生徒の意見が反映されていない―という意見があった。

また、クラブ活動においては、①親側がなく自由であるため、何事もできる②活発に活動している③クラブ数が少ない―などがあげられた。

クラブの大きな問題として、クラブ数、特に運動クラブが少ないことである。クラブを設けるには顧問、子算問題の解決・生徒会、総務委員会、職員の承認を得なければならない。このため、クラブ新設には、多くの時間と問題の解決が必要である。

以上のようなアンケートの結果を得た。我々南高生は、このような現状を知り、よく理解するとともに、これら諸問題の解決のために、これからの南高発展のために尽そう。

校長先生語る

土足で上がるなひとりひとりが自覚

四月十二日、新聞部では校長インタビューを行なった。これは一年生に指導するとが、を問うために行なったものである。これに対し校長先生は、一年生だけでなく全校生徒に指導することとしてこの「規律ある生活」ということを強調しておられた。

校長先生の話

今年度の目標は「規律ある生活」である。これは去年の目標が全然守れなかったためである。特に守れなかったことを例にあげると、①生徒交関がきたない②クラブの終わるのが遅い③窓・カーテンのとじまりが悪い④授業始まりのベルが鳴っても席に着かない⑤スクールバスの利用法が悪い―などあげられないほどである。

①の理由は、げた箱のそうじがほとんど行なわれていない。げた箱の前の一段上がった所に土足で平気で上がっている、などである。一週間に一度、げた箱をそうじし土足で上がらないようにするなど自分たちでもっと気をつけるようにしてほしい。

②は学校側では、原則として五時までと決まっており、遅くても六時のスクールバスに乗るように、クラブの部員は気をつけてもらいたい。

③は今学期から保健課の方からの指導があり徹底されてきたようである。

④は生徒ひとりひとりが気をつけ、休み時間と授業中のけじめをつけてもらいたい。

⑤は第一通りに集まるのが遅いため、始めのバスはすいているが終わりの方はぎゅうぎゅうづめという状態であったが、今学期からしずくなり、徹底されてきている。

以上がインタビューの結果である。

減少した合格者率

＝進学状況＝ 何のための進学かを

第四期生が卒業して二カ月余り四月に入って今年度も例年どおり大学合格者が、会議室前に発表された。昨年度は進学希望者三五八人（内旧卒業生八七人）の約六〇%の二七人（内旧卒業生五四人）が合格している。

この状況を前期生のものと比較してみると進学希望者は増加しているが、進学合格者率は約六%減少している。また旧卒業生の合格者率は昨年度と比較し約三〇%も減少している。大学紛争、一部の大学の入試中止に影響され、このような結果が出たようである。

進学指導課の寺田先生は、進学を志している三年生に対して、大学紛争の情勢がどのようになるかを想像することが大切であるが、どんな場合でも実力が第一であるまた志望校を選ぶ場合には、何のために進学するのかを考え、技術を身につけ自分を生かすとか、先天的な特技を生かすなど進路も考えてもらいたいと、語っていた。大学入試まであと十ケ月。進学指導室へ足を運んだり、資料を参考にし、充分進学対策を考え、充実した十ケ月を送り、入試に備えてほしいものである。

42.3年度進学状況

	43年度	42年度
進学希望者	358 (87)	328 (96)
国公立	13 (9)	19 (10)
私立大	144 (42)	197 (54)
短期大	46 (6)	51 (11)
各種学校	41 (2)	31 (10)
合格者数	244 (59)	298 (85)

（　）内は旧卒業生

職員室

減少せずにすんだ独身先生

十二人の新しい先生方を迎えて職員室の表情も新しくなったさあ今年度もやるぞという新しい雰囲気。

昨年度の末から年度にかけて水野先生・久保先生が結婚されて職員室にも独身の先生が少なくなってきたな、と思っていたら、十二人の新しい先生のうち独身先生二〇〇先生が独身だということだから職員室の独身者の数は減少しなくてすんだことになる。ところで、また未婚の先生が何人おられるのだろう。伊藤武雄先生・植田先生・菊地先生・福田先生・寒先先生〇〇先生の諸先生、などが少なくなったものだ。もっとも自称独身を以って任しておられる先生方も数に入れれば、そんなに心配した数でもない。

「渡瀬先生なんか、独身だといえば、それで通用するじゃないですか」「御当人におうかがいしてみると「ぼくは毎朝でる時いつも女房と喧嘩して来ますから、学校にいる時は独身なんですよ。女房にもそういって聞かしてあるんです」という答えがかえってきた。渡瀬先生は事実お若いのだが、学生の頃から殆どお変わりになっていないということだから、独身であっても不思議はないわけだ。

増田先生もつい最近まで、独身であることになっていた。増田先生は昨年まで商業科のHRを教えた。そのHRの生徒諸君は増田先生を、パチェラーだと決めてしまっていた。仕事といい、話し振りといい、先生の周囲に結婚していることを感じとることができなかったというのである。ところがある日、意地の悪い先生もいるもので「何を言ってるんだ、増田先生には来月赤ん坊が生まれるって言うのに」と正体をばらしてしまったのである。その翌日、増田先生はその教室に行くことを少しためらった。何か悪いことをしたようなためらいだった。

「僕は何もかくしていたわけじゃないんですよ、だけどね……」といいながら増田先生はまぶしがってもない顔をしていた。そして先生が教室に出て見ると黒板には「裏切りは許せない」「偽善者」「なぜかくしていた」など、先生に対する非難文でいっぱいだった。そして、増田先生はどんな顔で、どんな弁明をしたか、しばし想像して頂くことにしよう。

積極的に使おう

新しい運動場

体育館の東側にある新しい運動場は、現在開放されているにもかかわらず、ほとんど活用されていない。ここには、ハンドボールコート二面・テニスコート三面・バレーコート二面がそれぞれ作られる予定である。

この運動場は、以前からハンド・テニス・バレー・ボール部のコートが配分されていたが、このニクラブではほとんど使用していない。このニクラブに使用しない理由を聞いてみると、また先生に教育されていない、柵がまだできていない、などの意見が聞かれる。

教育の状況などを事務室に聞いてみると二東側の運動場は柵がないために使用されているのだから、使用するクラブで積極的に使ってほしい。学校側でお金を出し教師をしてもいいが、多額のお金がかかるので今すぐというわけにもいかない。それよりも、クラブ活動で大きな石があればそれを拾ったり、ローラーをかけたり、自分たちの運動場を自分たちが使用しやすいように整備したらどうだろうか。

体育科の先生方も手伝ってくれるが、今学期はスポーツテストなどがあり何かとせわしいと思う。しかしできるだけのことをしてくれるならばと期待してくれた。

これらの意見をまとめてみると生徒が使用してもよいということが、連絡不十分のためにこのようなことが起こったのである。

これからは、この運動場をフルに使用して有効に使用しようと思う。

いつ整うか螢光灯

曇り、雨の日は…

近ごろひんぱんに螢光灯をつけてほしいという声を耳にする。現在、普通教室には黒板が悪いための螢光灯が二つしかついていない。しかし三十八HRのように二つもついていない教室もある。

このような状態では、雨降り、曇りの日などの時、黒板の字がはっきりと見えるわけはなく、まして目の悪い人、席が後の人などはもちろんである。

これについて学校側は「子算などの問題で今すぐ解決することはできないので必要の生じた所から順にとりつけたい」と言っている。いずれにせよ学校側は、学習の能率化のためにもっと重要視し早急に適切な処置をとるべきである。

楽しく、厳しく

意欲見せる美術クラブ

新学期もやがて、文化クラブの活動がめざってきた。運動クラブのように新入生の募集に意気ごんでいる様子もかなりみられる。反面意欲喪失ぎみで消極的な態度で集めているクラブもある。

どの学校にも文化クラブの代表的な位置として、美術クラブがあげられる。本校の美術クラブは現在、入部志願者を〝消極的〟に集めている。部長さんは「うちのクラブは募集しなくても部員は集まるので」とほこりしげに言った。

放課後、美術クラブをたずねると、二年生の部員が四、五人で相談中であった。何の相談かなと思ったら、ダイヤのキングを早く出せ。トランプゲームに身を投じていた。

ことしの展開は、鈴木文雄先生毎年どの先生もクラブには来られないとか。そんなところから、課外的なムードがきざまれるのだろう。

しかし毎日そんな活動ばかりをしてるわけではない。クラブの打ち合わせ会を行なったり、これからの予定も組む。初めは一日おきに、五センチのデッサンをさせ六月ごろにはスケッチ旅行もきまっている。

部員の人たちは、「今後もショーウインドコンテストの上位入賞をめざし、また静岡で行なわれる商業デザインコンテストや、他の展覧会にも進出して、自分たちの力をためしてみたい」とはりきっていた。

東京オリ日記

・菊井菊百、放課後、広告取りに行く。「あのー、南高の新聞部ですが、広告出していただけないでしょうか」「今、社長がいないから、また来てください」と兵員。きょうで二回目なのに。しかし、新聞を発行するためにはかたがない。あすもまた来わねば。

・菊井菊百、十時の午後、最後のインタビューのため生徒会室へ。しかし、入口には『会議中』の札がある。廊下の窓を開いて中を覗くと、ちょうど終わるのを待っていると、中から役員が首を出し「新聞部ちょ」と言ってすぐまたはいっていってしまった。ノックしても返事はない。中からはコンポン玉の音と笑い声が聞こえるだけである。

・菊井菊百、生徒会室へ食インタビューに出かける。会長はいた。さっそくインタビュー。

これらの点を特に注意して、今年度の目標「規律ある生活」を守るようにしよう。

・菊井菊百、放課後、広告取りに行く。「あの、南高の新聞部ですが、広告出していただけないでしょうか」「今、社長がいないから、また来てください」と兵員。きょうで二回目なのに。しかし、新聞を発行するためにはかたがない。あすもまた来わねば。

・菊井菊百、十時の午後、最後のインタビューのため生徒会室へ。しかし、入口には『会議中』の札がある。廊下の窓を開いて中を覗くと、ちょうど終わるのを待っていると、中から役員が首を出し「新聞部ちょ」と言ってすぐまたはいっていってしまった。ノックしても返事はない。中からはコンポン玉の音と笑い声が聞こえるだけである。

・菊井菊百、生徒会室へ食インタビューに出かける。会長はいた。さっそくインタビュー。

「会長知りませんか」と顧問会長が編集室に現れたのは、それからしばらくしたかだった。

しかし、やっと顧問をつかまえ聞いたら会長は先生にはばれて出ていってしまった。しばらくして戻ってはきたが、絶えず始めるとそのうちまた先生の呼び出し。きょうはあきらめようと早々にひきたけてきた。

運動クラブが引越し

がらりと変った

旧柔道室
旧卓球室

南館のもと卓球室、柔道室が新学期からそれぞれ、第一タイプ室（和文）、調査研究室（食料室）として使用されている。

一教室があった部屋は、昨年の格技場完成で柔道場が移り、部室があいたこと。体育館使用していた剣道部も格技場に移り、卓球部の体育館使用が、より簡単になったためである。

なお調査研究室は、おもに先生方の個用の部屋となり、生徒には直接関係がなくなる。

和文タイプ室は今までのように商業科の二・三年の授業と和文タイプのクラブ活動に使用される。これで事務機械室は合わせて四教室になった。機械はわずかにふえただけだが、教室が広くなり使用しやすくなった。放課後は、クラブ活動以外の生徒も利用者がふえている。

視察団の一員として

日本体育施設協会の主催で、ヨーロッパ体育事情視察団の一員として、ロンドンを皮切りに、六カ国を見て来ることになった。

三月三日（月）出発。二時間前羽田空港のカウンター前に集合した。結団式や、出国手続きをすませ、機上の人となったのは、二十一時二十分すぎであった。

二十二時十分、飛行機は滑り出した。わずか三十秒か三十五秒で離陸であった。

離陸後、スチュアーデスが救命具と、酸素吸入器具の使用について説明した。これを使用する時は死を意味するものであると思いながらも、万が一にも思って聞くことにした。

三月四日（火）午前二時に目を覚ました。外には大雪がさんさんと降り、高度九千九百メートル。雲の下の間からは、白銀に染まれたテラスカと、氷山の浮んでいるのを見ることができた。

私が初めて異国の地に一歩足を下ろしたのは、同日四時五十分（アンカレッジ時間三月三日午前九時五分）氷点下九度というアンカレッジであった。

このあとパリ→ロンドン→パリ→ルクセンブルグ→ケルン→フランクフルト→ミュンヘン→チューリッヒ→ミラノ→ローマと大半をバスで移動した。

三月四日午後からは、第一の目的地ロンドンにあるスポーツ施設「クリスタルパレス」を視察。この建物は、イギリスでも名の通った競技施設ということであった。

三月四日午前、ロンドンにあるスポーツ施設を視察した。この学院には、士二年（初等科四年、高等科八年）の義務教育を終えた者であれば入学でき、他の大学と違った点は、博士課程がなく、スポーツ学位（修士号）を得るために入学した者が多いとのことであった。ここは男女共学で専門によって三年制と四年制があり、在校生手名のうち三分の一が外国人であるという。また科目においては、スポーツは勿論だが、哲学・神学・歴史と更に一日のうちに、二・三時間は必ず修身と呼ばれる精神修養の時間があるそうだ。ここで説明してくれたディエイン氏はくり返し、スポーツ専門だけではなく、精神修養に力を入れていることを強調されていた。この学院内には、スポーツ施設の研究部門があり、全西ドイツの州・市町村でスポーツ施設を持った場合は、ここの助言を仰ぐことになっている。

三月四日（火）午前二時に目を覚ました。外には大雪がさんさんと降り、高度九千九百メートル。雲の下の間からは、白銀に染まれたテラスカと、氷山の浮んでいるのを見ることができた。

私が初めて異国の地に一歩足を下ろしたのは、同日四時五十分（アンカレッジ時間三月三日午前九時五分）氷点下九度というアンカレッジであった。

このあとパリ→ロンドン→パリ→ルクセンブルグ→ケルン→フランクフルト→ミュンヘン→チューリッヒ→ミラノ→ローマと大半をバスで移動した。

三月四日午後からは、第一の目的地ロンドンにあるスポーツ施設「クリスタルパレス」を視察。この建物は、イギリスでも名の通った競技施設ということであった。

三月四日午前、ロンドンにあるスポーツ施設を視察した。この学院には、士二年（初等科四年、高等科八年）の義務教育を終えた者であれば入学でき、他の大学と違った点は、博士課程がなく、スポーツ学位（修士号）を得るために入学した者が多いとのことであった。ここは男女共学で専門によって三年制と四年制があり、在校生手名のうち三分の一が外国人であるという。また科目においては、スポーツは勿論だが、哲学・神学・歴史と更に一日のうちに、二・三時間は必ず修身と呼ばれる精神修養の時間があるそうだ。ここで説明してくれたディエイン氏はくり返し、スポーツ専門だけではなく、精神修養に力を入れていることを強調されていた。この学院内には、スポーツ施設の研究部門があり、全西ドイツの州・市町村でスポーツ施設を持った場合は、ここの助言を仰ぐことになっている。

建物の外見は、それほど豪華なものではなかったが、中に入って見ると、プールを始め各種のスポーツ設備が完備されており、その各々の施設が合理的にできていることに、感心させられた。またグランドのトラックは、特殊なゴムを水さっきすぐ、炭ガラの上にまいたものであった。フィールドには芝

上：外見はさほど豪華ではないが、施設は合理的なクリスタル・パレス　下：美しいライン川である親子と記念の一枚

ヨーロッパ旅行記

その1　菊地先生

編集後記

今回、十一月は、初めて二年生の手で作りあげた。みんなが楽しんでいる春休みも、合格発表・オリエンテーションなど取材に飛び回り、学校が始まってからも、放課後遅くまで、我らの城編集室にとじこもり部誌を完成させるためにがんばった。割り付け・広告・記事・写真などそれぞれとまどった時もあったが、先輩たちの協力でなんとか発行することができた。

バスケ　優勝なる

四月二十七日（長浜市立体育館）二十九日、五月三日（信濃校体育館）にかけて、バスケット県大会西部予選が行なわれ、本校女子バスケット部はみごと優勝という栄誉を勝ち得た。

優勝の裏には、冬から夏にかけて、基礎的練習をしっかりやり、その努力が実ってこのたびの大会に優勝という成績を上げることができた。

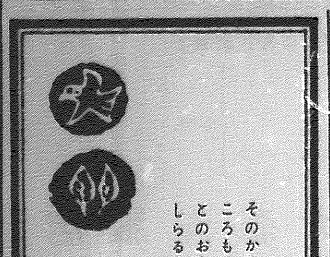
試合の結果は次の通りである。

マ二回戦　本校83―41磐田東
マ三回戦　〃　87―25浜心
マ準決勝　〃　75―46磐田北
マ決　勝　〃　52―41浜松市立

県大会での女子バスケットボール部の活躍を期待しよう。

21号編集担当者

部長　高橋　辰夫
副〃　松下千鶴子
会計　伊藤　裕子
部員　大場　朋子
〃　近藤美千代
〃　中西　由子
〃　中村　弘子
〃　林　健吾
〃　山本のり子


そのかみのひとのこころもとつくにのひとのおもひもふみにしらるる
谷島屋書店
連尺町本店
遠鉄名店ビル
遠州浜団地

ワシントン
―シューズ・チェーン―
ワシントン靴店
田町有楽街　52 4913
ライオン靴店
鍛冶町　52 2022
ニューワシントン
鍛冶町　52 1922・1929
マルサ店
デパート内　53 1815

しあわせを呼ぶクローバー
楽しいお買物とお食事は……
遠鉄名店ビル
浜松市田町321　TEL 54―3131

よい視力　よい成績
明るい性格
＊みなさまの視力センター
安心堂のメガネ
浜松市田町13の3 遠鉄名店ビル隣り　TEL(54)7551

華麗な主題曲！あなたに捧げる2大名作！